

2020 全日本大学女子選抜駅伝(富士山女子駅伝)

開催日: 2020年12月30日(水)

場所: 静岡県富士市、富士宮市

種目	距離	名前	学年	通過着順	区間着順	記録	備考
総合	43.4km	関西外国語大学		総合10位 (21チーム中)		2時間30分51秒	6年連続6回目の出場 優勝 名城大 2時間21分38秒 2位 大東文化大 2時間24分16秒 3位 立命館大 2時間27分00秒
1区	4.1km	小椋 美海	3年	20	20	13分56秒	
2区	6.8km	山岸 みなみ	1年	21	18	23分05秒	
3区	3.3km	太田 梨菜	4年	21	16	10分49秒	
4区	4.4km	清水 萌楓	2年	18	13	15分07秒	
5区	10.5km	西出 優月	3年	13	8	36分05秒	
6区	6.0km	西松 美樹	4年	14	10	20分53秒	
7区	8.3km	矢尾 桃子	2年	10	5	30分56秒	

【山本コメント】

10月全日本大学女子駅伝(仙台)と並び、大学女子駅伝日本一を決める本大会に、昨年に引き続いて6年連続6回目の出場を果たした。仙台ではやや不本意な順位(18位)だったので、今回は仙台のときと同じ目標の12位以内を目指して臨んだ。レース当日は、スタート前まで雨が降っていたものの直前に止み、気温はそれほど低くなく、レース後半からは晴れてきてむしろ少し暑くなった。フィニッシュ後には、富士山の鮮やかな頂を拝むことができた。

レースは、序盤はやや苦しい順位ながらも諦めずに最小限のタイム差でつなぎ、中盤から想定通りに徐々に順位を上げ、最終7区で10位まで順位を上げてフィニッシュし、目標の12位以内を達成することができた。今回の「10位」は、本学チームが創部2013年以降に仙台と富士山で5度達成していた最高順位13位を越えるものであった。今回の成績は、卒業生を含むこれまでのすべての部員の積み重ねによる成果といえよう。サポートに回った部員も含めて、すべての部員が力を合わせて頑張った今回の成果を素直に喜ぶたい。

しかし個々でみると、各区間ともまだまだ満足できるタイムでなく、それぞれ課題が残った。また、サポートに回った部員はより悔しい思いを持っていることだろう。来年は一段と準備を重ね、来年4月に入部する新入生と力を合わせ、仙台と富士山でさらにもう一段前の位置でレースを進めることを目標にして、上位校に挑んでいきたい。

今回はコロナ禍の中で開催が危ぶまれたが、静岡県、富士市、富士宮市、大会事務局、スポンサー、静岡陸協、日本学連、東海学連など、多くの皆様にご理解ご協力をいただき、入念な安全対策の中で大会は開催された。学生たちにとってかけがえのない時間、成長の機会を確保していただいたことに、心より感謝申し上げます。今回を乗り越え、今後ますます大会が発展していくことを祈念いたします。

また、今回は無観客開催となり例年のような現地応援ができなくなった中、テレビを通して、SNSを通して、学内学外の多くの方に応援していただいたことに感謝申し上げます。今後も、駅伝レースの機会を通して、また日々の様々な活動を通して、感謝の気持ちを返していきたいと思ひます。